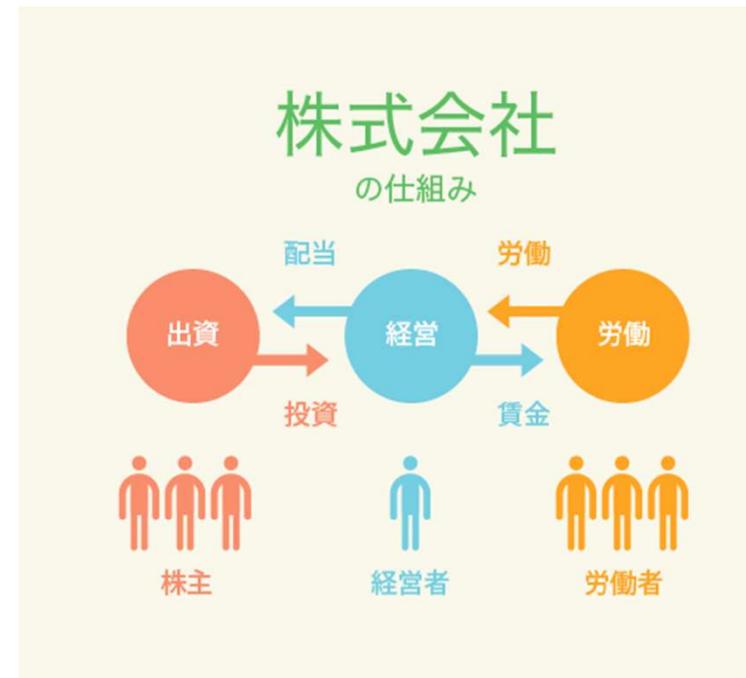
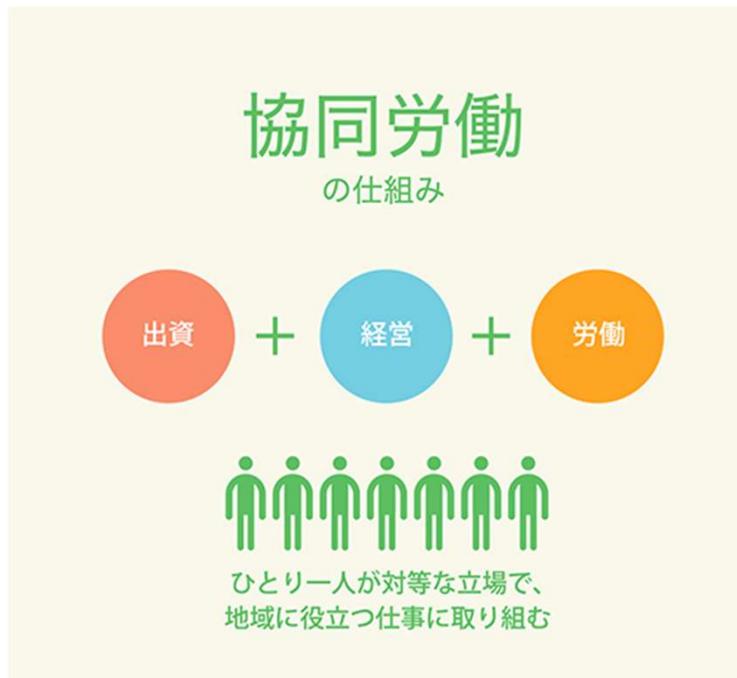


1 協同労働とは

「協同労働」は、皆が自らできる範囲で出資し、皆が対等な立場でアイデアを出し合って、人と地域に役立つ仕事に取り組む仕組み（働き方）

一般的な働き方では、会社が労働者を雇用し、使用者の指揮命令のもとで労働者が働くかたちとなっており、出資・経営・労働が分離



◎ これまで、広島市内では、32団体300人以上が協同労働を活用したプロジェクトにより活動し、地域コミュニティの活性化に寄与しています。

◎ 各団体の事業の内容（平成26年度～令和4年度）

| 事業内容 | 実施事業数※ |
|----------------|--------|
| 困りごと支援 | 16 |
| サロン（交流の場づくり） | 14 |
| 農業（耕作放棄地の活用等） | 6 |
| 食事提供（子ども食堂の運営） | 5 |
| 子ども支援（居場所づくり） | 3 |
| 伝承（災害復興、技術の継承） | 3 |
| 障がい者支援 | 1 |
| イベント運営 | 1 |

想いを共にする仲間が集まり、みんなが自らできる範囲で、対等な立場でアイデアを出し合って、地域に役立つ仕事に取り組んでいます。

※複数の事業を実施している団体があります。

2 広島市の取組

- ◎ 広島市では、平成26年度から、多様な働き方を実現しつつ地域の活力低下や担い手不足等の地域課題の解決に取り組む手段の一つとして、協同労働の全市的な普及を進めています。
- ◎ 今後も、少子高齢化や単身世帯の増加などの要因により、地域コミュニティの希薄化や地域の様々な機能低下がこれまで以上に進行する可能性が大きいことから、協同労働の一層の普及に取り組んでいくこととしています。
- ◎ 広島市の支援事業
【「協同労働」促進事業】
協同労働の仕組を活用して、地域課題の解決に取り組む事業の立ち上げ等を支援

「協同労働」プラットフォーム事業

経験豊富なコーディネーターが、事業の立ち上げから立ち上げ後の運営まで、寄り添って支援を実施

「協同労働」個別プロジェクト
立ち上げ支援事業（補助金交付）

具体的な事業化の目途が立った団体を対象に、立ち上げに要する経費に補助金を交付
（補助率1/2、上限100万円）

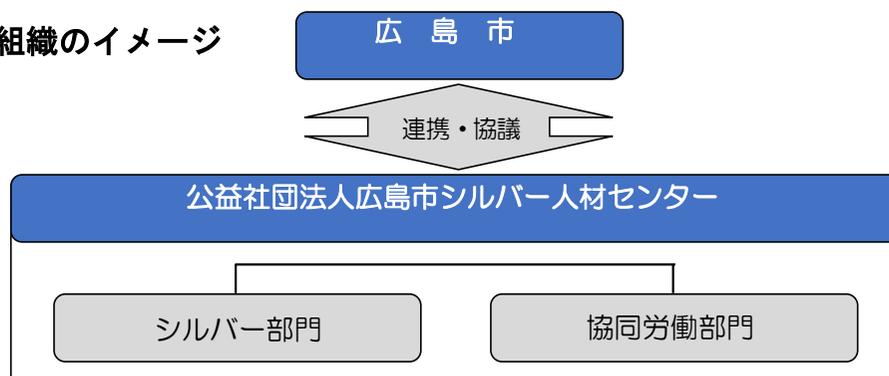
3 広島市シルバー人材センターでの取組

こうした状況の中、多様な社会参加活動を援助することにより、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする当センターにおいて、協同労働を普及させ、地域社会の活性化に資する取組を検討するため、今年度、シルバー活性化推進室を設置しました。

【取組の方向性】

- ◎ 令和7年度を目標に、現在のシルバーの組織を、現行のシルバー事業を実施する「シルバー部門」と協同労働の運用等に係る事業を担う「協同労働部門」の両機能を有する新組織に拡充し、協同労働の普及等の中心的役割を果たす体制を整えるとともに、両部門の連携を通じて、幅広い世代を対象に地域貢献を含めた多種多様な働き方を促進することで、地域コミュニティの活性化に繋がりたいと考えています。

※ 新組織のイメージ



【取組による効果】

- 多様な働き方の促進
- 協同労働団体への参画等により
 - ・働き方・働く機会の選択肢の増加
 - ・地域貢献の機会の増加

4 スケジュール（予定）

